

GE-1-i-02	A 西洋の言語と風土	第1学年	後期 選択必修	1.5単位
担当者	樋口 純明			
一般目標 (GIO)	ドイツ人とコミュニケーションの第一歩が踏み出せるための表現を学習し、ドイツ語圏の風土を知ることにより異文化理解を深める。			
到達目標 (SBOs)	ドイツ語は綴りの読み、日常の挨拶、簡単な自己紹介ができる力をつけることを目指す。また、日本と異なるドイツ語圏の習慣、文化を知ることにより、国際的な視野の獲得を目標とする。			
受講心得・準備学習等	隣同士でドイツ語の簡単な受け答えの練習をすることが多い。また毎回流す映像をちゃんと見てほしい。授業の最後に毎回授業コメントを書かすので授業に集中すること。			
事後学習・復習等	初修言語は声に出して単語や文を何度も読むことが大事なので実践すること。			
オフィスアワー	授業の後に質問などを受け付ける。			

授業の形式と各回の内容

授業の形式		講義
回	項目	内容
1	オリエンテーション	ドイツの歴史、国土、建物などの紹介。ABCの発音を通じてドイツ語の音を知る。
2	日本に来るドイツ人達	日本学を学ぶドイツ人などを通して文化の違いを考える。綴りと発音：母音字。
3	環境問題とドイツ人1	節約の精神から環境保護へ。綴りと発音：子音字。
4	環境問題とドイツ人2	自然エネルギー利用。あいさつのドイツ語（基本）、数字（1-20）
5	ドイツの学校制度	日本の学校制度との比較。あいさつのドイツ語（発展）、数字（20-）
6	シュタイナー教育	人称代名詞、動詞の人称変化(1)、肯定・否定の練習。
7	第二次世界大戦	ベルリンの壁など。動詞の人称変化(2)
8	ウィーン	歴史と建築物。動詞の人称変化(3) ドイツ語中間テスト(10分)。
9	ゲーテとシラー	ゲーテの詩『野バラ』や、シラーの詩『歓喜の歌』など。重要動詞(sein, haben)。
10	ドイツの自動車技術	ダイムラー社。動詞活用総復習。
11	グリム童話	グリム兄弟の生い立ちと業績。ドイツ語で簡単な自己紹介。
12	ロマンチック街道	美しい町を訪れる。名詞と文法的性。
13	日独メンタリティ比較	ドイツ語圏で活躍する日本人音楽家たち。定冠詞と不定冠詞。
14	ドイツの科学技術	フォン・ブラウン。ドイツ語期末テスト(20分)

成績評価の方法	ドイツ語中間テスト+期末テスト80%、講義コメントや授業参加度20%
成績評価の基準	合計点数が60点以上を合格とする。
教科書	教場でプリント類を配布する。
参考書など	自習書:『わかる！初級ドイツ語のすべて CD付』(榎本重雄、白水社) 単語帳:『CDブック これなら覚えられる！ドイツ語単語帳』(山本淳、NHK出版)